

<b>B 2 5</b> <b>上級</b> (PC 実習あり)	<h1>化学特許調査の応用</h1> <h2>～侵害予防調査～</h2> <p>F I と F タームとキーワードの適切な活用法</p>
講師	平野 邦男 (元 出光興産(株) 知的財産部)
日程・場所	東京会場 11月20日(金)
時間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定員	24名(先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	化学系分野の特許調査担当の中級者以上
<b>内 容</b>	
<p>研究開発、新製品の発売において他社特許を侵害していないことが重要となります。そこで、化学分野における侵害予防のための特許検索について、まず、侵害予防検索の位置付けを明確にし、特許情報の特長を把握した上で、いくつかのテーマのそれぞれにおける特異な状況を的確に捉え、深く切り込んだ(特許分類の F I と F ターム、キーワードの請求範囲と全文、および上位概念における適切な使い方) 検索を行い、侵害予防のための特許検索の本質に迫ります。</p>	
<b>プログラム</b>	
<p>1. 侵害予防特許検索  ~侵害予防検索とは何かを確認する~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索が必要な範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 技術の広がり、実施範囲、検索範囲の明確化の重要性</li> </ul> </li> <li>・ 特許分類とキーワード <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ テーマ: LLDPE とポリアミドの積層体</li> <li>➢ F ターム、F I およびキーワードの特性を確認する</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 検索実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「樹脂組成物」 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ テーマ: ポリスチレン、ガラス繊維含有ポリカーボネート樹脂組成物</li> </ul> </li> </ul>	<p>2. 検索実習のつづき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ F タームの付加コードの活用(樹脂主成分、添加剤)</li> <li>➢ 請求範囲と全文の違い</li> <li>・ 「化粧品」 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ テーマ: コラーゲンとシルクを含有した化粧品</li> <li>➢ 特許分類(F ターム、F I の活用)</li> <li>➢ キーワードと特許分類の違い</li> </ul> </li> <li>・ 「樹脂の用途」 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ テーマ: 野菜用通気性 LLDPE 包装材料</li> <li>➢ F ターム、F I の活用</li> <li>➢ キーワードの上位概念検索</li> </ul> </li> </ul>

## 【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

- ・ 商用の特許情報データベース「J P-N E T」による検索実習を予定しております。(PC は当社にてご用意いたします。)
- ・ セミナーで使用したデータは参加者の方へ配布いたします。当日、USB メモリをご持参いただければ、演習結果等をお持ち帰り頂けます。(事務局より事後の配布は致しませんのでご了承ください。)
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。